

令和6年度



しもよねだ

第9号 令和6年11月29日(金)

自分の目で見て確かめる、自分で確かめて考える

～修学旅行と津田左右吉博士集会から～

校長 板津 英文

◎自分の目で見て確かめる

11月21日～22日。6年生のみなさんが、京都・奈良への修学旅行に行ってきました。旅行中、自分だけが楽しい思いをするのではなく、周りの仲間も楽しめるように、温かな声掛けや心配りがたくさんありました。すばらしい修学旅行になりました。

旅行では、京都の金閣寺や奈良の大仏などの有名な歴史的建造物を見て来ました。右の写真は、東大寺の大仏殿を訪問した時の様子です。調べてみると、大仏の高さは約15m。それがこの中に収まっているので



修学旅行の東大寺大仏殿訪問の様子

すから建物はさらに大きいことが予想できます。「きっと、大きいんだろうなあ。」とぼんやり思いながら、実際に見てみると、大仏殿は、予想を上回って、びっくりするくらい巨大な建物でした。実際に目で見て確かめることの大切さが分かりました。まさに、ことわざの「百聞は一見に如かず※」を実感できた修学旅行となりました。

※人から何度も聞くより、一度実際に自分の目で見るほうが確かであり、よくわかる。(小学館「デジタル大辞泉」)

◎自分で確かめて考える

11月14日。津田左右吉博士集会を行いました。集会では、4年生のみなさんが、博士について調べたことを、寸劇やクイズにして、3年生や5、6年生に発表しました。とても詳しく、聴く人に分かりやすく発表できていました。ゲストでお招きした、津田左右吉博士顕彰会の佐合会長さんも、うなずきながら発表を聴いてくださっていました。



津田左右吉博士集会の様子

全校のみなさんが持っている本「津田左右吉物語」

の中に、「古典であれ、教科書であれ、真実かどうか確かめてみる。これがわたしの研究の方法なんです。」という津田博士の言葉があります。昔から言われていることや、人から聞いた話を、そのまま信じるのではなく、自分で確かめて、本当のことかどうかを考える。私たちが、こうした学び方ができるようになると素敵ですね。